

はすだね通信

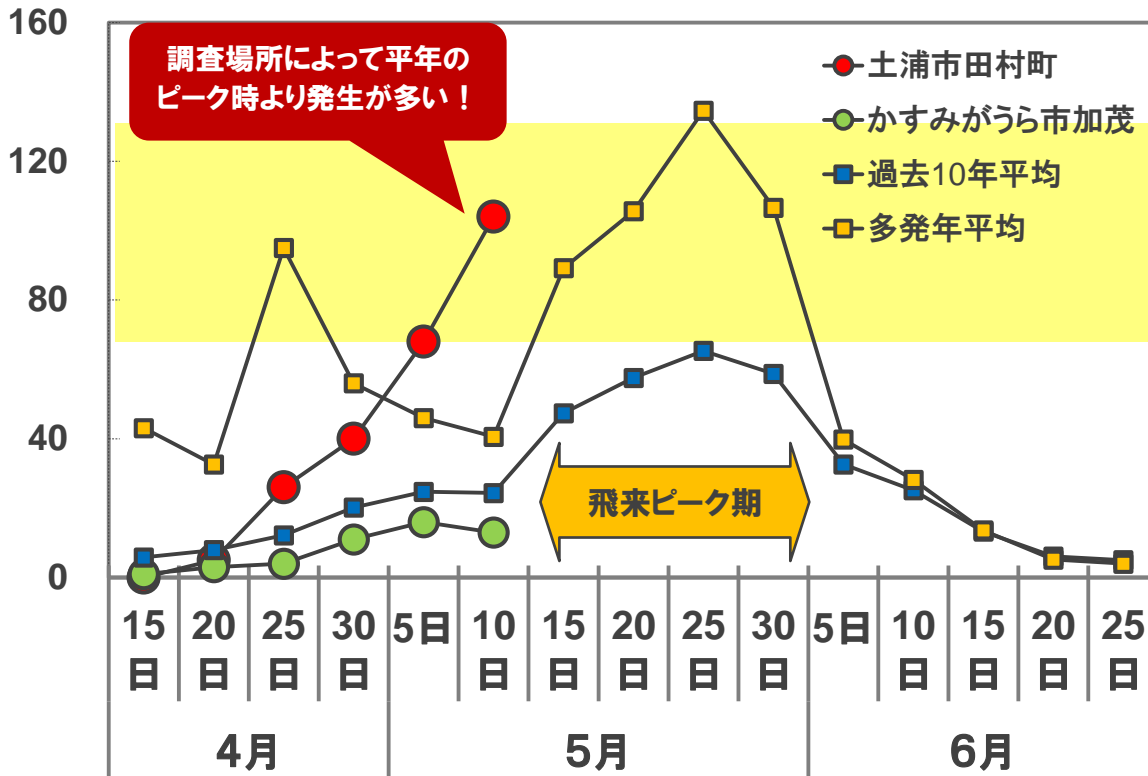
第 61 号

県南農林事務所経営・普及部門(土浦地域農業改良普及センター) 令和2年5月18日発行

今年もアブラムシの飛来が多いため防除に努めてください！

- ・普及センターでは、春先から初夏にかけてアブラムシの発生状況（飛来数）調査を行っており、平年の飛来数のピークは『5月中旬～5月下旬』となっています。
- ・今年は調査場所により、飛来が例年より早いペースが多いため、ほ場を確認し早めの防除*や追加の防除をご検討ください。*粒剤は散布後、1～2週間程度で効果が発現します。

令和2年アブラムシ飛来数の推移(頭)



レンコンに寄生するハスクビレアブラムシ



アブラムシが媒介する条斑病に感染したハス

<アブラムシの飛来傾向と発生形態>

- ・気温が高い年ほど早く飛来し、高温や乾燥等が続くと大幅に増加します。
- ・飛来した後、レンコンの葉に寄生し、羽の無いタイプになり増殖します

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)による被害に気を付けて下さい！

- ・スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）が増加したレンコン田において、貝によるレンコンの葉の食害が確認されています（右写真）。
- ・展開前の柔らかい新しい葉や、水面に近い浮葉が被害を受けるため、レンコンの生育に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- ・繁殖力が非常に高く、多発すると防除が困難になるため、密度が増えないようにほ場の発生状況を観察し、登録のある農薬の使用や、ピンク色の卵塊を水中に落とす等の対策を行ってください。



レンコンの葉を食害するスクミリンゴガイ



ピンク色の卵塊 食害で穴があいたレンコンの葉

農薬を使用する方は、必ず、使用する前にラベルを見て、対象作物、希釈倍率や使用量、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。また、農薬散布の際は、周辺作物等への飛散(ドリフト)に十分注意して下さい。